

科目区分	専門教育科目	授業科目名	栄養指導論Ⅱ				科目コード	26S603	担当者	古賀 克彦			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	栄養士必修			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	学生が栄養指導に必要な理論や技術、および基本的知識を修得することを目的とする。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	課題の提出はありませんが、オフィスアワー等の時間に授業内容に関する質問に対応します。定期試験で成績不良となった学生には、追再試期間中に別途時間を設けて、解説や質問の受付などを行い、理解を深める支援を行います。
授業の方法	講義形式	アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内に過去の栄養士実力認定試験の問題を解き、解答の検討や発表を行います。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	栄養指導関連の諸施策① 「健康日本21（第三次）」	教科書の「健康日本21（第三次）」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第9回	栄養指導の技術と方法	教科書の「栄養指導の技術と方法」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第2回	栄養指導関連の諸施策② 「食育（食に関する指導）」	教科書の「食育（食に関する指導）」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第10回	ライフステージ別の栄養指導① 「妊婦の栄養指導」、「産婦・授乳婦の栄養指導」	教科書の「妊婦の栄養指導」と「産婦・授乳婦の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第3回	栄養指導関連の諸施策③ 「食生活指針」	教科書の「食生活指針」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第11回	ライフステージ別の栄養指導② 「乳児期の栄養指導」	教科書の「乳児期の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第4回	栄養指導関連の諸施策④ 「食事バランスガイド」	教科書の「食事バランスガイド」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第12回	ライフステージ別の栄養指導③ 「幼児期の栄養指導」	教科書の「幼児期の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第5回	栄養指導関連の諸施策⑤ 「身体活動・運動指導」	教科書の「身体活動・運動指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第13回	ライフステージ別の栄養指導④ 「学童期の栄養指導」、「思春期の栄養指導」	教科書の「学童期の栄養指導」と「思春期の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第6回	栄養指導関連の諸施策⑥ 「休養指導と睡眠指針」前半部分	教科書の「休養指導と睡眠指針」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第14回	ライフステージ別の栄養指導⑤ 「成人の栄養指導」	教科書の「成人の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第7回	栄養指導関連の諸施策⑦ 「休養指導と睡眠指針」後半部分	教科書の「休養指導と睡眠指針」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	第15回	ライフステージ別の栄養指導⑥ 「高齢者の栄養指導」	教科書の「高齢者の栄養指導」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。	
第8回	栄養指導の技術と方法	教科書の「栄養指導の技術と方法」の部分をあらかじめ読み、予習しておくこと。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	栄養士のための栄養指導論 第9版/戸川修貳/学建書院	受講生へのメッセージ	栄養に関する知識を持っていても、それを相手に効果的に伝え、行動を望ましい方向へ導くことができれば、栄養士としての役割を十分に果たすことはできません。本授業では、栄養指導に必要な基礎知識の修得や、実践的な指導方法について学びます。現場で即戦力となるスキルを身につけるため、積極的に授業に参加してください。疑問点があれば遠慮せずに担当教員に質問し、理解を深めましょう。頑張ってください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

